

## I 第35週の発生動向 (2011/8/29~2011/9/4)

- 手足口病については、弘前保健所管内において第26週から、東地方+青森市保健所、八戸保健所、五所川原保健所及び上十三保健所管内において第31週から、むつ保健所管内において、第32週から**警報**が継続しています。
- ヘルパンギーナについては、東地方+青森市保健所管内及び弘前保健所管内において、第34週から**警報**が継続しています。
- 流行性耳下腺炎については、上十三保健所管内において第27週から**警報**が継続しています。

## II 第35週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科	(85)														0				
(74) RSウイルス感染症	2	0.2	9	1.0			1	0.2	1	0.2			13	0.3	3			2	0.3
(75) 咽頭結膜熱			5	0.6									5	0.1	0				
(76) A群β溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.2	1	0.1			1	0.2	2	0.3			6	0.2	1			2	0.3
(77) 感染性胃腸炎	22	2.4	9	1.0	7	0.9	1	0.2	3	0.5	13	4.3	55	1.4	4	10	10.0	12	1.5
(78) 水痘	8	0.9			4	0.5	2	0.4	2	0.3	1	0.3	17	0.4	6			8	1.0
(79) 手足口病	147	16.3	49	5.4	96	12.0	38	7.6	130	21.7	57	19.0	517	12.9	-51	13	13.0	134	16.8
(80) 伝染性紅斑	2	0.2			1	0.1			4	0.7	2	0.7	9	0.2	0	2	2.0		
(81) 突発性発しん	7	0.8	3	0.3	4	0.5			1	0.2	5	1.7	20	0.5	-1	2	2.0	5	0.6
(82) 百日咳														0					
(83) ヘルパンギーナ	73	8.1	71	7.9	4	0.5	19	3.8	22	3.7	3	1.0	192	4.8	1	3	3.0	70	8.8
(84) 流行性耳下腺炎	17	1.9	1	0.1	9	1.1			16	2.7	6	2.0	49	1.2	5			17	2.1
眼科															0				
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	3	1.5			2	1.0							5	0.5	-2			3	1.5
(92) クラミジア肺炎															0				
基幹															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎			2	2.0	11	11.0					2	2.0	15	2.5	5				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

## III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出状況は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前1人(23年計:279人)

## IV 病原体検出情報 ※ ( ) 内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

・感染症発生動向調査による病原体検出については、以下のとおりです。

下気道炎患者1名(鼻汁、5/20)・・・ライノウイルス：弘前

無菌性髄膜炎患者1名(髄液、8/16)・・・コクサッキーウイルスB1型：五所川原

# 感染症の窓

## 細菌性赤痢 (3類全数把握疾患)

細菌性赤痢の病原体は、赤痢菌属の志賀赤痢菌、フレクスナー赤痢菌、ボイド赤痢菌、ソルネ赤痢菌です。赤痢菌は大腸粘膜細胞内に侵入増殖し、化膿性炎症を起こします。

12時間~1週間(通常3日以内)の潜伏期間後に、突然の発熱が1~2日続いた後、水様性下痢、腹痛、膿粘血便、しぶり腹などを呈します。

主な感染源はヒトであり、患者・保菌者の糞便、それらに汚染された手指、食品、水を介して直接あるいは間接的に経口感染します。また10<sup>1</sup>~10<sup>2</sup>の少ない菌量で感染が成立し、家庭内での2次感染率は40%に達するため、注意が必要です。感染予防には、手洗いの励行が重要です。「感染症の診断・治療ガイドライン2004 日本医師会監修」参考

国内では届出数が急増しています(図1)。県内では、第34週に2件の届出があります(図2)。

(注：届出数は、8月31日時点の数値)

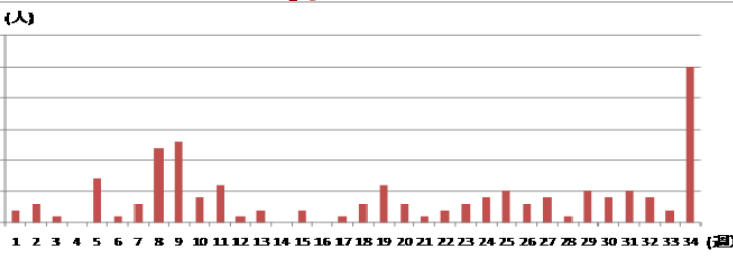


図1 2011年の国内届出数推移

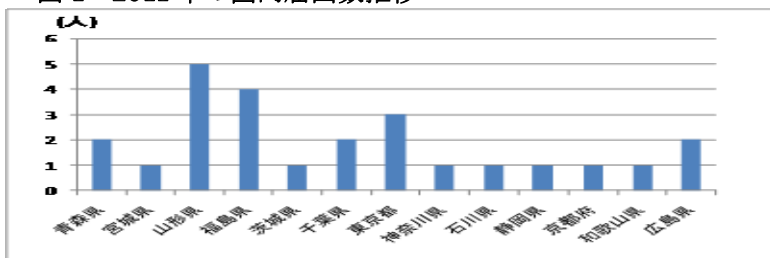


図2 第34週の県別届出数

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（届出数は速報値です）

単位：人 2011年第16週～第34週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
16	H23.4.18 ~ H23.4.24						
17	H23.4.25 ~ H23.5.1			レジオネラ症1人			
18	H23.5.2 ~ H23.5.8						
19	H23.5.9 ~ H23.5.15	つつが虫病1人					
20	H23.5.16 ~ H23.5.22				つつが虫病1人		
21	H23.5.23 ~ H23.5.29			つつが虫病1人			
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	つつが虫病2人					
23	H23.6.6 ~ H23.6.12	つつが虫病1人	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人 バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人		つつが虫病1人	つつが虫病1人	
24	H23.6.13 ~ H23.6.19		梅毒1人	急性脳炎1人			
25	H23.6.20 ~ H23.6.26		腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人 梅毒1人	つつが虫病1人
26	H23.6.27 ~ H23.7.3	つつが虫病2人	つつが虫病2人			梅毒1人	
27	H23.7.4 ~ H23.7.10					後天性免疫不全症候群1人	
28	H23.7.11 ~ H23.7.17	レジオネラ症1人 破傷風1人	腸管出血性大腸菌感染症2人 破傷風1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
29	H23.7.18 ~ H23.7.24		腸管出血性大腸菌感染症1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
30	H23.7.25 ~ H23.7.31		腸管出血性大腸菌感染症3人 後天性免疫不全症候群1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
31	H23.8.1 ~ H23.8.7			0		つつが虫病1人	
32	H23.8.8 ~ H23.8.14						
33	H23.8.15 ~ H23.8.21		腸管出血性大腸菌感染症1人				
34	H23.8.22 ~ H23.8.28		腸管出血性大腸菌感染症1人 細菌性赤痢2人		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	

VI 結核（二類全数把握疾患）

単位：人 2011年第16週～第34週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
16	H23.4.18 ~ H23.4.24	4		4	3		
17	H23.4.25 ~ H23.5.1	1	1		1		
18	H23.5.2 ~ H23.5.8	1	1	1	2		
19	H23.5.9 ~ H23.5.15		2	2	3	1	
20	H23.5.16 ~ H23.5.22	2		1			
21	H23.5.23 ~ H23.5.29	1		5	3	3	
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	2	2		1	1	
23	H23.6.6 ~ H23.6.12	1	2		2		
24	H23.6.13 ~ H23.6.19	1	5	5	2		
25	H23.6.20 ~ H23.6.26	1	1	8	1	6	3
26	H23.6.27 ~ H23.7.3	1	1	2		1	
27	H23.7.4 ~ H23.7.10		3	10		6	
28	H23.7.11 ~ H23.7.17	1		10	1	3	
29	H23.7.18 ~ H23.7.24	1	1	3		4	
30	H23.7.25 ~ H23.7.31	1	1	3	2		3
31	H23.8.1 ~ H23.8.7	2		3	2	5	
32	H23.8.8 ~ H23.8.14	3		3	2	1	
33	H23.8.15 ~ H23.8.21		1		1		1
34	H23.8.22 ~ H23.8.28			6		3	2

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）

（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

2011年9月6日9時集計速報値

	二類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類		
	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ポツリス症	マラリア	ライム病
全国	1	20039	6	167	2732	14	18	43	145	12	11	2	5	164	61	71	2	3	47	5
青森県	0	279	0	2	21	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0

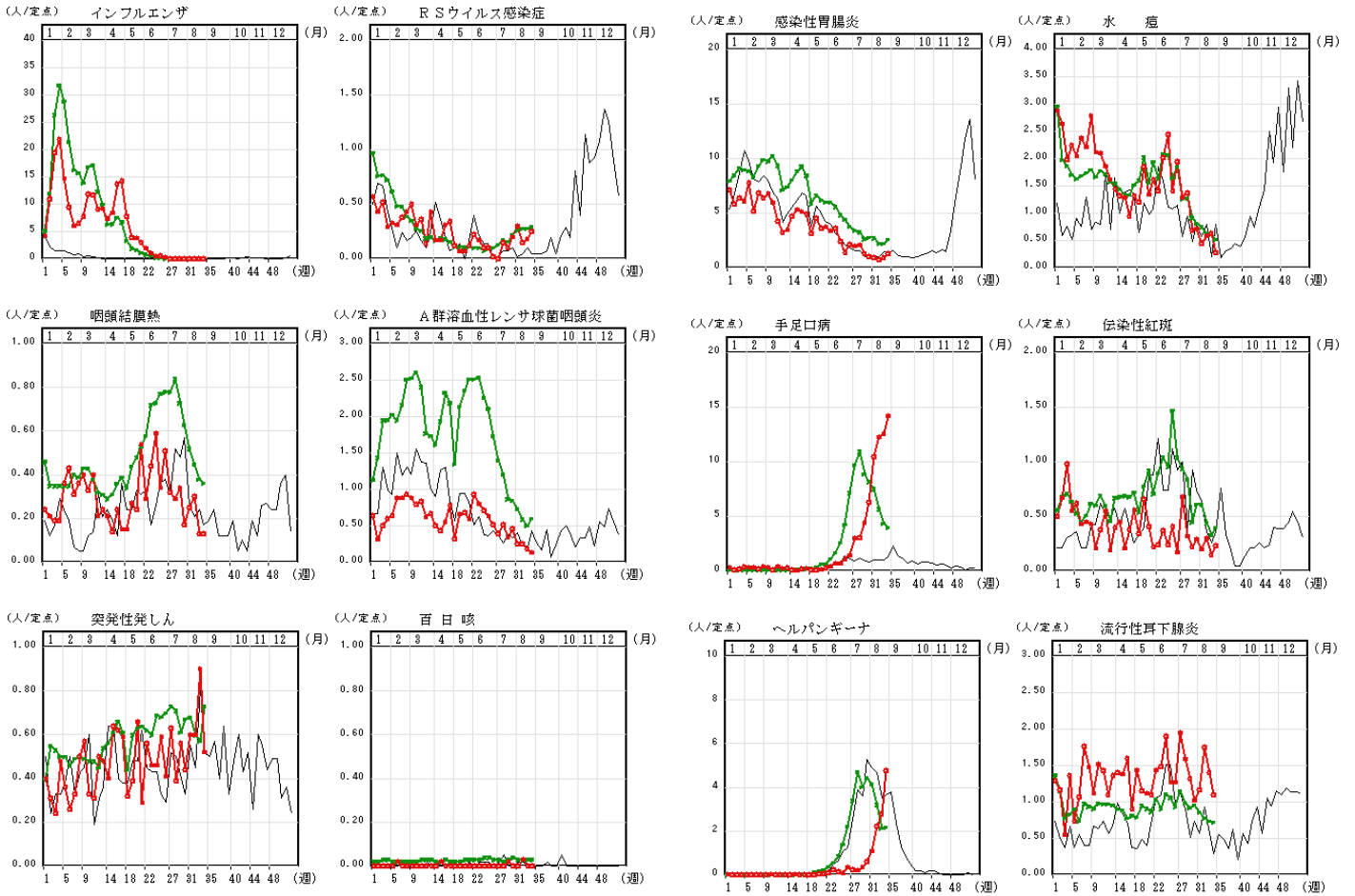
  

	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん
全国	2	472	9	528	169	193	6	80	151	952	44	7	1	502	77	38	305	392
青森県	0	2	0	1	0	2	0	0	1	2	0	0	0	5	2	1	0	0

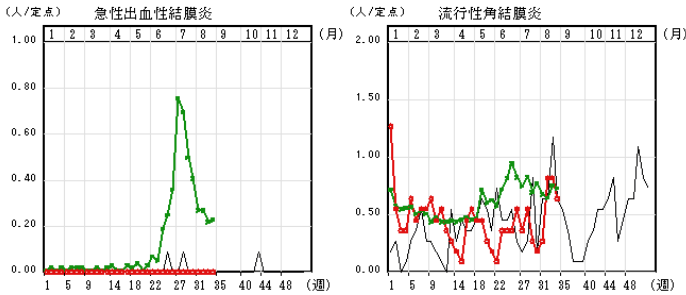
グラフの説明 ○—○は2011年青森県、——は2010年青森県、○—○は2011年全国

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2011年第34週



IX 眼科定点把握疾患週別推移 2011年第34週



X 基幹定点把握疾患週別推移 2011年第34週

